

球題閑話

いっきゅうにゆうこん たねん なし
一球入魂無他念 (ひとつのボールに精神を集中し、他のことに囚われない)

かいだせんしん てんじつ きよし
快打洗心天日清 (快心の一打は、心を洗いながし、太陽のように清々しい)
球聖・飛田穂洲忠順(1886-1965)の作とされるが、初出は不明。

しっそう ばんり しょうふうのごとし
疾走万里如翔風 (俊敏な走りは万里を駆け巡り、舞いあがる風の様である)

ごうわんむ そう じゃきをはらう
剛腕無双払邪気 (並ぶものがない優れた投手の速球は、邪気を払いのける)

発行：スポーツ文献社

著作編集：弘田 正典